

大宰の時の梅花に追和する新しき歌六首

三九〇一番

み冬ふゆ継つぎ 春はるは来きたれど 梅うめの花はな 君きみにしあらねば
招をく人ひともなし

三九〇二番

梅うめの花はな み山やまとしみに ありともや かくのみ君きみ
は 見みれど飽あかにせむ

三九〇三番

春はる雨さめに 萌もえし柳なやぎか 梅うめの花はな 共ともに後おくれぬ 常つねの
物ものかも